

□主な内容

【第 40 回 EST 創発セミナー-in 大分〔九州〕の参加者募集中！】

11 月 22 日(金)に大分県大分市で第 40 回 EST 創発セミナー-in 大分〔九州〕「モビリティが創るヘルシーでエコな生活」を開催します。皆様からのご参加をお待ちしています。

<http://www.estfukyu.jp/> (詳細や申込方法は、左記ポータルサイトにて近日公表予定)

【「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム(仮称)」設立に向けた意見交換会を開催】

国土交通省では、グリーンインフラに関心のある地方公共団体、民間企業、大学、研究機関等とともに、このプラットフォームが担うべき役割や取組についての意見交換会を開催します。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000199.html

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 158 回)

- 「そろそろムチを考えませんか？」 【名城大学 教授 松本 幸正】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 158 回)

- 「豊田市における 20 年以上にわたる交通需要マネジメント施策の継続的展開」
【豊田都市交通研究所 石井 真】

3. ニュース／トピックス

- グリーンインフラについて一緒に考えてみませんか？ ～「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム(仮称)」設立に向けて～【国土交通省】
- 地方鉄道向けの無線式列車制御システムの仕様標準化の検討を開始 ～「第1回地方鉄道向け無線式列車制御システム使用標準化評価委員会」の開催～【国土交通省】
- ナショナルサイクルルート制度を創設 ～日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートを国内外へPRします～【国土交通省】
- ナショナルサイクルルートのロゴマークを募集します！【国土交通省】
- MaaS の地域への普及を促進します！ ～「スマートモビリティチャレンジ 地域シンポジウム」を開催～【国土交通省】
- 令和元年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰について【国土交通省】
- 神戸三宮 未来型駅前空間の創出に向けて ～国道 2 号等 神戸三宮駅前空間の事業計画「中間とりまとめ」～【国土交通省】

- あなたのまちを、居心地が良く歩きたくなるまちなかへ！ ～まちの修復・改変を目指し、160 都市と共に、新たな都市再生プログラムを推進～【国土交通省】
- 中小トラック・バス事業者に対し燃費性能の高いハイブリッド自動車の導入補助を実施します！【国土交通省】
- 「令和元年度 EV/FC バス・トラック等のユースケース毎の航続距離等の特性に関するデータ収集及び事業性検証委託業務」データ収集・提供事業者の公募採択案件【環境省】
- 「～SDGs 達成に向けた～持続可能な地域の創り手を育む”学びの場”づくりガイドブック」の発行について【環境省】
- 水素・燃料電池技術開発戦略を策定しました【経済産業省】
- 《公共交通シンポジウム 2019》「進む変革の波！地域の未来を担う公共交通 ～激流を乗り越え、地域の活性化につなげるために～」を開催します【関東運輸局】
- 平成 30 年度「地域連携サポートプラン」の提案書を交付しました【近畿運輸局】
- モーダルシフトの需要は継続、自動車輸送は 7 年連続で増加 ～平成 30 年度の管内旅客船等輸送実績(確定値)～【神戸運輸監理部】
- 「エンジョイエコドライブおかやま」参加者募集 ～この秋は新型試乗車でエコドライブを体験しませんか～【中国運輸局】
- 行楽地などへ出掛ける機会の増える秋 エコモビにトライしてみませんか！【愛知県】
- 東京観光情報センターにおける新たな提供サービスの試行について【東京都】
- 「JR 東日本アプリ」と複合経路検索「mixway API」が連携 今後の MaaS 展開に向けて相互協力を強化【JR 東日本、ヴァル研究所】
- JR 東日本と ANA は連携して MaaS に取り組みます【JR 東日本、ANA】
- オンデマンドバスサービス実証実験について ～社内 3,500 名超を対象に MaaS 実用化を推進～【住友商事】
- MaaS の実現に向け、AI や IoT を活用した支援策を開始【日本マイクロソフト】
- 「瀬戸内国際芸術祭 2019 ひろがる秋」開催エリアの周遊性向上に貢献 豊島でのグリーンスローモビリティレンタカーの実証実験を開始【ヤマハ発動機】
- 日産自動車、札幌市と「災害時の避難所等における次世代自動車からの電力供給の協力に関する協定」を締結【日産自動車ほか】
- ルノー社、Demeter 社、TMH 社とのドイツでの EV 用蓄電池を活用する電力事業会社の設立【三井物産、ルノー社、TMH 社】
- 社会的インパクトに関する年次報告書を発表【HCT グループ】
- イギリスビジネス・エネルギー・産業戦略省、産業の排出削減のため水素・低炭素技術開発に 3 億 9000 万ポンドを追加【イギリスビジネス・エネルギー・産業戦略省】

4. イベント情報

- 第 40 回 EST 創発セミナー in 大分〔九州〕「モビリティが創るヘルシーでエコな生活」【2019/11/22】
- 京都スマートシティエキスポ 2019【2019/10/3-4】

- 地域交通のイノベーション ～MaaS 構築のために～【2019/10/4】
- 第 26 回「鉄道の日」記念イベント【2019/10/5】
- GTF グリーンチャレンジデー2019 in 新宿御苑【2019/10/5-6】
- 第 26 回「鉄道の日」記念イベント YOKOHAMA トレインフェスティバル2019【2019/10/5-6】
- 第 26 回「鉄道の日」記念イベント 鉄道フェスティバル in 東北【2019/10/6】
- 公共交通シンポジウム 2019「進む変革の波！地域の未来を担う公共交通」【2019/10/8】
- ロハスフェスタ【2019/10/12-14、2019/11/1-5、2019/11/15-17】
- 第 26 回鉄道フェスティバル【2019/10/12-13】
- 第 26 回「鉄道の日」記念イベント【2019/10/12-13】
- 第 26 回「鉄道の日」記念イベント【2019/10/12,26,25-29】
- 甘木鉄道 トレインピクニック ～レイルフェスタ九州 2019～【2019/10/20】
- 第 26 回「鉄道の日」記念イベント 駅祭テイング 2019in 天王寺公園【2019/10/20】
- 第 26 回 ITS 世界会議シンガポール 2019【2019/10/21-25】
- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2019【2019/10/26-27】
- エコモビリティライフ県民の集い 2019【2019/11/6】
- LRT 都市サミット札幌 2019【2019/11/8-9】
- 第 14 回全国路面電車サミット札幌 2019【2019/11/10】
- エコプロ 2019 ～持続可能な社会の実現に向けて～【2019/12/5-7】
- 第 17 回 ITS シンポジウム 2019【2019/12/12-13】
- 第 17 回アジア太平洋地域 ITS フォーラムブリスベン 2020【2020/5/25-28】

5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 158 回)

●「そろそろムチを考えませんか？」

【名城大学 教授 松本 幸正】

自家用車利用と公共交通利用の適正なバランスを図るには、「アメ」と「ムチ」の交通政策が不可欠である。我が国ではこれまで、「アメ」として、公共交通の利用促進の取組を行ってきた。各地で策定されている地域公共交通網形成計画の内容を見れば、特に、バスの利用促進のメニューが多数並んでいることがわかる。増便、ダイヤ改善、ルートの見直し、料金見直し、バス待ち環境の改善、乗り継ぎ割引の導入、定期券の発行、わかりやすいバスマップの作成など枚挙に暇が無い。これらの取組は一定の利用促進効果があると考えられるが、大きく利用者が増加することは望めない。なぜであろうか？

それは、公共交通に対して自家用車が便利過ぎるからである。直接の費用、所要時間、自由度、快適性など多くの部分で公共交通は自家用車に太刀打ちできていない。もちろん、地球環境のため、地域での公共交通確保のためといった理由で公共交通を利用してきている層もいるには違いないが、そのような利用が持続可能とは思えない。合理的に判断をした場合に、公共交通の方が優位になるようにする必要があろう。

では、そのためにはどうすべきか？

まずは「アメ」をもっとおいしくすべきで、公共交通をより便利にすることである。例えば、バス優先施策(バスレーン、PTPS、BRT など)の導入、運賃制度の変革(ゾーン制料金、オフピーク割引運賃、CAP 制など)、バス待ち環境の大幅な改善と路線の見える化(GTFS 化)など、他にも魅力的な施策はたくさんある。

重要なことは、これらに加えて、いよいよ「ムチ」を打つ時が来ているのではということである。つまり、自家用車の利用抑制を同時に考える必要があるということである。

ステークホルダーの理解を得ることが難しいこともあって、これまで自家用車利用に「ムチ」が打たれることはほとんど無かった。しかしながら、「アメ」と「ムチ」がなければ、自家用車と公共交通利用の適正なバランスが図られることがないことは、世界各国の事例を見れば明らかである。都心部への自家用車流入を抑制する施策、例えば、歩行者優先で自動車では走りにくい道路構造への転換、都心部流入課金、駐車場料金の値上げ、願わくば、ペDESTリアナイゼーション(歩行者専用空間化)などが望まれる。最近では、自動車から取り戻したわずかな空間を活かして、人々が集う高質な空間を創造し、そこに新たな経済活動を生み出し、街の魅力が高まっている事例も多数報告されている。これこそが持続可能なまちであり交通ではなからうか。

一部、痛みが伴う施策ではあろうが、社会全体としては大きな便益を生む。中長期の視点を持って、コンパクト+ネットワークと並行して、関係機関が、そして産学官民が協力しながら進めて欲しいものである。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 158 回)

●「豊田市における 20 年以上にわたる交通需要マネジメント施策の継続的展開」

【豊田都市交通研究所 石井 真】

愛知県豊田市では、通勤時間帯の道路交通渋滞対策の一環で、1996 年に「TDM 勉強会」を設立し、企業など民間主導による TDM の実現を目指してきました。この組織は、その後何度か名称や構成員を変えながら、「豊田エコ交通をすすめる会」(以下、すすめる会)に引き継がれています。これらの組織が母体となり、現在に至る 20 年以上の間、TDM を中心とする交通環境対策に継続的に取り組んできました。すすめる会には豊田市内に事業所がある企業等 30 社が加入し、エコ交通に関する活動を推進しています。

すすめる会が主体的に行ってきた活動は、会員企業やその他企業への啓発による公共交通や乗り合いの促進に始まり、「TDM 社会実験」等の行動変容のための大規模社会実験の実施、会員企業への MM の実施やその支援、市民向けのエコ交通の啓発、小学校を対象としたエコ交通出前教室の実施など、時代の変化に合わせて取り組みの形を変えつつ継続してきました。

すすめる会の取り組みを中心として構成企業等が TDM 施策を展開するとともに、TDM 施策と連携する形で行われた公共交通体系の拡充整備による効果も相まって様々な効果が確認されています。公共交通利用者数は継続的に増加し続けるとともに、パーソントリップ調査における通勤目的の自動車分担率が 2001 年の 79%から 2011 年の 71%に 8 ポイント減少しています。これらの効果はすすめる会の活動のみで得られたものではありませんが、すすめる会が存在することで公共交通体系の拡充整備と連携した活動や、継続的な取り組みが実現したと考えています。

一方で、課題としては、すすめる会会員企業の中で活動意欲に差があることが挙げられます。これは、各事業所でエコ交通活動に対する方針や事業所の立地、人員等が異なる中で、やむを得ないことであると考えます。そこで近年では、活動意欲が高い事業所でエコ交通活動の実践例を作り、すすめる会会員事業所全体に情報展開する活動をしています。活動意欲が高い事業所が、全体を引っ張っていくことで、豊田市における継続的な活動を推進していきたいと考えます。

3. ニュース／トピックス

●グリーンインフラについて一緒に考えてみませんか？ ～「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム(仮称)」設立に向けて～【国土交通省】

国土交通省では、「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム(仮称)」の設立に向けて、グリーンインフラに関心のある地方公共団体、民間企業、大学、研究機関等の皆さんとともに、このプラットフォームが担うべき役割や取組についての意見交換会を開催致します。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000199.html

●地方鉄道向けの無線式列車制御システムの仕様標準化の検討を開始 ～「第1回地方鉄道向け無線式列車制御システム仕様標準化評価委員会」の開催～【国土交通省】

無線式列車制御システムについては、首都圏等の鉄道での導入が始まっているところです。「第1回地方鉄道向け無線式列車制御システム仕様標準化検討会」を開催し、経営の厳しい地方鉄道においても同様のシステムが導入できるよう、仕様標準化に向けた検討を開始しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo07_hh_000163.html

●ナショナルサイクルルート制度を創設 ～日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートを国内外へPRします～【国土交通省】

自転車活用推進法に基づき、自転車を通じて優れた観光資源を有機的に連携するサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、自転車活用推進本部において、ナショナルサイクルルート制度を創設しました。

また、第1次ナショナルサイクルルート候補ルートとして、3ルートを選定しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001227.html

●ナショナルサイクルルートのロゴマークを募集します！【国土交通省】

自転車活用推進本部では、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートを国内外へPRするため、新たにナショナルサイクルルート制度を創設しました。

今後、ナショナルサイクルルートのプロモーションを図るため、ナショナルサイクルルートに指定されたルート上での路面表示や案内看板、ポータルサイト等で使用するためのロゴマークを募集します。

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001228.html

●MaaSの地域への普及を促進します！ ～「スマートモビリティチャレンジ 地域シンポジウム」を開催～【国土交通省】

国土交通省・経済産業省では、MaaSをはじめとする新たなモビリティサービスに取り組む自治体や企業の方々と情報共有や連携を図る地域シンポジウムを全国各地で開催していきま

す。スマートモビリティチャレンジの支援対象地域・事業等の紹介やネットワーキングを通じ、MaaS の地域への普及を促進していきます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000156.html

●令和元年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰について【国土交通省】

7月11日(木)に令和元年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰式が行われ、工藤国土交通大臣政務官から各受賞団体に表彰状が授与されました。

本表彰は、地域公共交通に関する取組みについて、他地域の模範となるような顕著な功績があった団体を国土交通大臣が表彰するもので、平成21年から毎年実施しております。今回の受賞団体は、地域の実情に応じた創意工夫による持続可能な公共交通体系の実現、地域に根ざした利用促進策の実施、多様な主体との協働による地域の活性化に資する取組の実施など、他の地域に先駆けた意欲的な取組により、公共交通の利用の気運が醸成され、利用者数の増加につながったことが高く評価されました。

<http://www.mlit.go.jp/common/001305098.pdf>

●神戸三宮 未来型駅前空間の創出に向けて ～国道2号等 神戸三宮駅前空間の事業計画「中間とりまとめ」～【国土交通省】

国道2号等 神戸三宮駅前空間の整備について、国土交通省と神戸市は、昨年8月に新たな未来型の駅前空間の創出に関する整備方針をとりまとめ、民間事業者等の知見を広く取り入れながら、関係者とともに、事業計画の検討を進めてきたところです。このたび、集約型公共交通ターミナルの整備を含む事業計画の「中間とりまとめ」を策定しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001223.html

●あなたのまちを、居心地が良く歩きたくなるまちなかへ！ ～まちの修復・改変を目指し、160都市と共に、新たな都市再生プログラムを推進～【国土交通省】

国土交通省は「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、市町村や民間事業者等による取組や、産学官等の多様な主体が連携する取組を支援していくために、関連する令和2年度予算概算要求や税制改正要望等を「まちなかウォークアブル推進プログラム(予算概算要求時点版)」としてとりまとめました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi05_hh_000257.html

●中小トラック・バス事業者に対し燃費性能の高いハイブリッド自動車の導入補助を実施します！【国土交通省】

国土交通省では、平茂30年度第2次補正予算に係る「中小企業向けハイブリッドトラック等導入支援事業」の3次公募を9月2日(月)より実施しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000222.html

●「令和元年度 EV/FC バス・トラック等のユースケース毎の航続距離等の特性に関するデータ収集及び事業性検証委託業務」データ収集・提供事業者の公募採択案件【環境省】

このたび、「令和元年度 EV/FC バス・トラック等のユースケース毎の航続距離等の特性に関するデータ収集及び事業性検証委託業務」の実施に係るデータ収集・提供事業者の公募の審査の結果、2 件が採択されました。

<http://www.env.go.jp/press/107195.html>

●「～SDGs 達成に向けた～持続可能な地域の創り手を育む”学びの場”づくりガイドブック」の発行について【環境省】

環境省では、SDGs 達成に向け、持続可能な地域の創り手を育む「学びの場」づくりの手法やポイントを事例と併せて紹介するガイドブックの概要版を作成しました。

<http://www.env.go.jp/press/107191.html>

●水素・燃料電池技術開発戦略を策定しました【経済産業省】

水素・燃料電池戦略協議会では、水素社会の実現に向けて、水素基本戦略(2017 年 12 月策定)、第 5 次エネルギー基本計画(2018 年 7 月策定)及び水素閣僚会議における東京宣言(2018 年 10 月)等を踏まえ、2019 年 3 月に「水素・燃料電池戦略ロードマップ」の改訂を行いました。また、同ロードマップにおいて分野毎に掲げる目標の達成に向けて具体的な技術開発事項を定める「水素・燃料電池戦略技術開発戦略」を策定しました。

<https://www.meti.go.jp/press/2019/09/20190918002/20190918002.html>

●《公共交通シンポジウム 2019》「進む変革の波！地域の未来を担う公共交通 ～激流を乗り越え、地域の活性化につなげるために～」を開催します【関東運輸局】

少子高齢化や人口減少等に対応し活力ある地域を維持するため、利用者に使いやすく効率の良い地域交通を、地域の関係者が共同して作り上げていく取組が各地でスタートしています。こうした中、近年では MaaS や自動運転等、新技術を活用したモビリティ・サービスの開発が進展し、交通サービスに変革が押し寄せてきています。本シンポジウムでは、この変革の波に乗って、地域公共交通が抱える諸課題を解決するための方策を探求していきます！

http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/press/date/1908/0828/pk_p190828.pdf

●平成 30 年度「地域連携サポートプラン」の提案書を交付しました【近畿運輸局】

近畿運輸局では、自治体の公共交通に関する課題について、現地に赴き、意見交換等を通じて自治体とともに解決策を考え、提案書を交付し、課題解決に向けて自治体をサポートする「地域連携サポートプラン」の取組を実施しています。

平成 30 年度は 5 つの自治体と協定を締結し、課題解決の方向性を示した提案書を交付しており、今後も提案の実現に向けてフォローアップを行うこととしています。

<http://www.mlit.go.jp/common/001305103.pdf>

●モーダルシフトの需要は継続、自動車輸送は7年連続で増加 ～平成30年度の管内旅客船等輸送実績(確定値)～【神戸運輸監理部】

平成30年度における神戸運輸監理部管内を発着する旅客船等の輸送実績(確定値)について発表します。

http://www.tb.mlit.go.jp/kobe/00001_00594.html

●「エンジョイエコドライブおかやま」参加者募集 ～この秋は新型試乗車でエコドライブを体験しませんか～【中国運輸局】

日本自動車販売協会連合会岡山県支部、岡山県軽自動車協会、中国運輸局岡山運輸支局、軽自動車検査協会岡山事務所は、10月26日(土)に、玉野市の「おもちゃ王国」を会場に「エンジョイエコドライブおかやま」を開催します。

ドライブと観光を楽しみながらエコドライブを理解を深めてもらい、燃費削減、地球温暖化防止など環境意識向上を目的としています。また、各メーカーの試乗車を体験できます。

一般参加者の募集が行われております。

http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/00001_00223.html

●行楽地などへ出掛ける機会の増える秋 エコモビにトライしてみませんか！【愛知県】

愛知県では、クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分ける「エコモビリティ ライフ」(エコモビ)を県民運動として推進しています。「エコモビ」の更なる定着を目指すため、10月31日(木)まで「エコモビ」の実践を呼びかけるキャンペーンを実施しています。行楽地などへ出掛ける機会の増える秋、電車やバス、カーシェアなどを利用してエコモビにトライしてみませんか？チラシでは、エコモビの実践にふさわしいおすすめ施設を紹介しています。

<http://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/action/01campaign.html>

●東京観光情報センターにおける新たな提供サービスの試行について【東京都】

東京都では、都内5か所に「東京観光情報センター」を設置し、都内及び全国の観光情報を提供しております。ラグビーワールドカップ2019開催期間にあわせ、11月30日(土)まで新たなサービスを試行しています。

都では、国内外から多様な旅行者を迎えるに当たり、障害者や高齢者が安心して都内観光を楽しめる、アクセシブル・ツーリズムの充実に向けた取組を推進しています。東京観光情報センターバスタ新宿内に、専用カウンターを設置し、バリアフリー対応のお薦め観光コースやホテル等の紹介や、車いす・ベビーカーの貸出等のサービスを試行的に実施しています。

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2019/08/26/11.html>

●「JR東日本アプリ」と複合経路検索「mixway API」が連携 今後のMaaS展開に向けて相互協力を強化【JR東日本、ヴァル研究所】

東日本旅客鉄道株式会社と経路検索サービス「駅すぱあと」を提供する株式会社ヴァル研究所はこのたび、「JR 東日本アプリ(日本語版)」と MaaS 向け API「mixway API」の連携を行い、今後の MaaS 構築への展開・取組の推進のため、協力関係を強化します。

「mixway API」は、公共交通やシェアサイクル、デマンドモビリティに対応した複合経路検索や、乗り降り自由なフリーパスにも対応した運賃・料金計算などの機能を、従来よりも少ない準備時間やコストで MaaS アプリや Web サイトに提供・実装可能です。このことから、MaaS サービス提供者は配車・予約機能、決済機能、割引クーポンなど事業者独自のコンテンツの企画・開発に注力することができます。

<https://www.val.co.jp/topics/2019/082901.html>

●JR 東日本と ANA は連携して MaaS に取り組みます【JR 東日本、ANA】

東日本旅客鉄道株式会社と全日本空輸株式会社は、昨今国内外で活発に行われている「MaaS(Mobility as a Service)」の展開、構築において連携していくことで合意いたしました。今回の合意により、モバイル端末などのデジタルテクノロジーも活用しながら、検索・予約・決済などのさまざまな面で連携し、お客さまに「陸と空」が連携したサービスを検討します。

https://www.jreast.co.jp/press/2019/20190828_ho02.pdf

●オンデマンドバスサービス実証実験について ～社内 3,500 名超を対象に MaaS 実用化を推進～【住友商事】

住友商事株式会社は、住友商事本社勤務の全従業員を対象にオンデマンドバスサービスの実証実験を 8 月下旬より開始しました。本実証実験では、住友商事本社勤務の全従業員である約 3,500 名超を対象に、取引先、グループ企業、官公庁、駅などへの移動をオンデマンドバスに置き換え、ユーザーにとっての利便性・効率性、サービスとしての安全性・事業性、社会課題との整合性を検証します。

<https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/news/release/2019/group/12320>

●MaaS の実現に向け、AI や IoT を活用した支援策を開始【日本マイクロソフト】

日本マイクロソフト株式会社は、業種業態を横断した「モビリティ(移動)」にフォーカスし、利用者志向で革新的なサービスを提供する MaaS の実現に向けた支援策を開始します。今回の支援策を通して、パートナー企業と連携し、新たなビジネスの創出を図っていきます。

現在、日本におけるモビリティサービスでは、急速に変化していくビジネス環境への迅速な対応が求められており、当社ではこうした課題の解決および各社が競争力を発揮していくための支援を行います。

https://news.microsoft.com/ja-jp/2019/08/27/190827_ms_maas_2019/

●「瀬戸内国際芸術祭 2019 ひろがる秋」開催エリアの周遊性向上に貢献 豊島でのグリーンスローモビリティレンタカーの実証実験を開始【ヤマハ発動機】

ヤマハ発動機株式会社は、9月28日から「瀬戸内国際芸術祭 2019 ひろがる秋」が開催される豊島(香川県土庄町)において、現地のレンタカー事業会社「株式会社カレンスタイル」、
「三井物産株式会社」と共同で、グリーンスローモビリティ(GSM)によるレンタカー事業の実証
実験を開始します。この実証実験は、豊島における受容性の把握を目的としています。

<https://global.yamaha-motor.com/jp/news/2019/0913/gsm.html>

●日産自動車、札幌市と「災害時の避難所等における次世代自動車からの電力供給の協力に関する協定」を締結【日産自動車ほか】

日産自動車株式会社と、北海道日産自動車株式会社、札幌日産自動車株式会社、
日産プリンス札幌販売株式会社は、9月12日に札幌市と「災害時の避難所等における次
世代自動車からの電力供給の協力に関する協定」を締結したと発表しました。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/release-45b3fa460603073238c557e82b009190-190912-01-j>

●ルノー社、Demeter 社、TMH 社とのドイツでの EV 用蓄電池を活用する電力事業会社の
設立【三井物産、ルノー社、TMH 社】

三井物産株式会社は、Renault S.A.S(ルノー社)、Fonds de Modernisation Ecologique
des Transports(仏 Demeter Partners が管理するインフラファンド)、The Mobility House AG
と、ルノー社製の電気自動車(EV)用の蓄電池を活用した定置型蓄電池を用いて、ドイツ国
内での電力の調整力提供を目的とする事業会社 Tokai 2 GmbH を8月に設立しました。

https://www.mitsui.com/jp/ja/topics/2019/1229528_11237.html

●社会的インパクトに関する年次報告書を発表【HCT グループ】

ロンドン特別区内の Hackney 地区で設立されたコミュニティ・トランスポートを専門とする社
会的企業 Hackney Community Transport Group(HCT グループ)は、バスサービスの社会的
インパクトに関する年次報告書を発表しました。社会的インパクトを、地域施設へのアクセス、
身体的・精神的健康、家族・友人関係、市民権とコミュニティ、雇用・育成と教育、収入・財
務、自然環境との対話の7種類に分類し、それらに含まれる評価指標の値を示しました。

<http://www.hctgroup.org/uploaded/hct-group-impact-report-2019.pdf>

●イギリスビジネス・エネルギー・産業戦略省、産業の排出削減のため水素・低炭素技術開
発に3億9000万ポンドを追加【イギリスビジネス・エネルギー・産業戦略省】

イギリスビジネス・エネルギー・産業戦略省(BEIS)は、温室効果ガス排出量を2050年まで
に実質ゼロとする目標達成に向け、産業からの排出削減に有効な水素・低炭素技術の開
発に3億9000万ポンドを新たに拠出すると発表しました。

<https://www.gov.uk/government/news/hydrogen-powered-distillery-to-produce-sustainable-gin>

4. イベント情報

● 第 40 回 EST 創発セミナーin 大分〔九州〕

日時:2019 年 11 月 22 日(金)13:30~16:55

場所:コンパルホール 文化ホール

主催:大分市、国土交通省九州運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/> (詳細や申込方法は、左記ポータルサイトにて近日公表予定)

● 京都スマートシティエキスポ 2019

日時:2019 年 10 月 3 日(木)~4 日(金)10:00~17:00

場所:けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)、国際高等研究所、けいはんなプラザ、各研究機関

主催:京都スマートシティエキスポ運営協議会

<http://expo.smartcity.kyoto/>

● 地域交通のイノベーション ~MaaS 構築のために~

日時:2019 年 10 月 4 日(金)13:00~17:20 頃

場所:時事通信ホール

主催:(株)時事通信社

<http://www.jamp.jiji.com/sympo/2019/06/>

● 第 26 回「鉄道の日」記念イベント

日時:2019 年 10 月 5 日(土)10:00~16:00(予定)

場所:ゆめタウン廿日市〔ゆめ広場〕

主催:中国地区「鉄道の日」実行委員会

<http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/content/000101933.pdf>

● GTF グリーンチャレンジデー2019in 新宿御苑

日時:2019 年 10 月 5 日(土)~6 日(日)両日とも 10:00~16:00

場所:新宿御苑/風景式庭園及び整形式庭園

主催:GTF グレーターウキョウフェスティバル実行委員会

<http://www.gtfweb.com/recommend/recommend.html>

● 第 26 回「鉄道の日」記念イベント YOKOHAMA トレインフェスティバル 2019

日時:2019 年 10 月 5 日(土)9:45~17:00

2019 年 10 月 6 日(日)10:00~17:00

場所：第一会場：横浜新都市プラザ(横浜駅東口そごう地下2階正面入口前)
第二会場：横浜ポルタ特設会場(横浜駅東口地下街ポルタ中央広場周辺)

主催：「鉄道の日」関東実行委員会

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kanto/tetudou/date/leaflet.pdf>

●第26回「鉄道の日」記念イベント 鉄道フェスティバル in 東北

日時：2019年10月6日(日)10:00～15:00

場所：JR貨物・仙台貨物ターミナル駅(旧宮城野駅)構内

主催：東北地区「鉄道の日」実行委員会

<http://wwwtb.mlit.go.jp/tohoku/puresu/puresu/td190919.pdf>

●公共交通シンポジウム2019「進む変革の波！地域の未来を担う公共交通」

日時：2019年10月8日(火)13:00～17:45

場所：江戸東京博物館 大ホール

主催：関東運輸局

http://wwwtb.mlit.go.jp/kanto/koutuu_seisaku/seminar/annai/r1/annai.pdf

●ロハスフェスタ

日時・場所：2019年10月12日(土)～14日(月・祝) 淡路島：淡路島夢舞台 国営明
石海峡公園 芝生広場

2019年11月1日(金)～5日(火),15日(金)～17日(日)万博：万博記念公
園 東の広場

主催：ロハスフェスタ実行委員会

<http://event.lohasfesta.jp/>

●第26回鉄道フェスティバル

日時：2019年10月12日(土)～13日(日)

場所：日比谷公園・大噴水広場周辺

主催：「鉄道の日」実行委員会

<http://www.mlit.go.jp/report/press/content/001308077.pdf>

●第26回「鉄道の日」記念イベント

日時：2019年10月12日(土)9:30～16:00、13日(日)10:00～15:00

場所：オープニング会場：金山南ビル東側出入口前広場

金山第一会場：金山総合駅連絡通路橋イベント広場

金山第二会場：金山南ビル1階 インターコモン

金山第三会場：金山南ビル11階 名古屋都市センターまちづくり広場

主催:「鉄道の日」中部実行委員会

<http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/tethudo20190827.pdf>

●第26回「鉄道の日」記念イベント

日時・場所:2019年10月26日(土) 親子で行く鉄道施設見学(愛媛地区) 伊予鉄道・四国旅客鉄道

2019年10月12日(土)「7型維新号」乗車会(とさでん交通)

2019年10月25日(金)～29日(火) 鉄道・軌道パネル展(徳島地区) 徳島駅クレメントプラザ4階

2019年10月12日(土) Gonagafe Train／ごなカフェ トレイン(土佐くろしお鉄道) 高知駅 9:50 集合

2019年10月26日(土) 第16回サイクルプラストレイン ゆずの香かおる ゆずの郷をサイクリング(土佐くろしお鉄道) 土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線 後免町駅 8:30,のいち駅 8:40,安芸駅 9:10 集合

主催:四国「鉄道の日」実行委員会

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/content/20190912tetsudounohi.pdf>

●甘木鉄道 トレインピクニック ～レイルフェスタ九州 2019～

日時:2019年10月20日(日)10:00～16:20 雨天延期

場所:基山駅・甘木駅

主催:「鉄道の日」九州実行委員会

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000101430.pdf>

●第26回「鉄道の日」記念イベント 駅祭テイング 2019in天王寺公園

日時:2019年10月20日(日)10:30～16:00

場所:天王寺公園エントランスエリア「てんしば」

主催:「鉄道の日」近畿地区実行委員会

<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/9pdf19-137.pdf>

●第26回 ITS 世界会議シンガポール 2019

日時:2019年10月21日(月)～25日(金)

場所:Suntec Singapore Convention and Exhibition Centre

主催:Land Transport Authority, ITS Singapore

http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/singapore_2019/

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2019

日時:2019年10月26日(土)～27日(日)

場所:東洋大学白山キャンパス

主催:くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<https://zenkokuforum.jimdo.com/>

●エコモビリティライフ県民の集い 2019

日時:2019年11月6日(水)13:30~15:30

場所:愛知芸術文化センター12階アートスペースA

主催:愛知県、あいちエコモビリティライフ推進協議会

内容:「エコモビ推進表彰」表彰式、鉄道写真家 中井精也氏による講演 など

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotsu/011106ecomobi.html>

●LRT 都市サミット札幌 2019

日時:【サミット】2019年11月8日(金)14:30~17:35

【記念講演】2019年11月9日(土)10:00~12:00

場所:【サミット】ホテルオークラ札幌 2階フォンテーヌ

【記念講演】カナモトホール(札幌市民ホール)

主催:札幌市

<http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/shisaku/romen/lrtsummit.html>

●第14回全国路面電車サミット札幌 2019

日時:2019年11月10日(火)10:00~14:30

場所:札幌市中央区民センター2階 大ホール

主催:第14回全国路面電車サミット札幌 2019 実行委員会

<http://suzuki-syusaku.com/slrt/>

●エコプロ 2019 ~持続可能な社会の実現に向けて~

日時:2019年12月5日(木)~7日(土)10:00~17:00

場所:東京ビッグサイト 西・南ホール

主催:(一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/eco2019/>

●第17回 ITS シンポジウム 2019

日時:2019年12月12日(木)~13日(金)

場所:石川県地場産業振興センター

主催:金沢大学、(特非)ITS Japan

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/17th2019/

● 第 17 回アジア太平洋地域 ITS フォーラムブリスベン 2020

日時:2020 年 5 月 25 日(月)~28 日(木)

場所:Brisbane Convention & Exhibition Centre QUEENSLAND

主催:ITS Australia

http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_110/katsudou2014tabid_110katsudou2014tabid_110ap_forum17/

5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/nev/nev_top.html

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<http://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<http://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecom.o.or.jp(担当: 中道)

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>